

8 令和7年度自己評価表

目指す学校像	創立以来、98年に及ぶ女子教育の歴史と伝統の上に立ち、変化してゆく現代社会にあって、校章の野ばらのごとく、「清らにつつましく、踏まれても、刈られても、たくましく、美しく」生きていく意欲と感性豊かな人間の育成に努め、生徒一人ひとりの知的・道徳的・芸術的・身体的な能力を最大限に伸ばし、調和のとれた人間の形成を図る。			
三つの方針		具体的目標		
「三つの方針」 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) ① 女子教育という建学の精神のもと、変化する社会の中で「清らにつつましく、踏まれても、刈られても、たくましく、美しく」生きていく意欲と感性豊かなリーダーシップのある人財 ② 生涯の力となる学びを通して、知的・道徳的・芸術的・身体的な能力を最大限に伸ばした調和のとれた、共生社会で自立できる人財		
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) ① 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育課程に基づき、基礎学力の増進と進路意識の高揚に努め、生徒の適性、能力、希望に応じた進路希望の実現 ② 体系的なキャリア教育と体験的な国際理解教育の活動を通じて、グローバルな視野をもってコミュニティーを俯瞰し、看護・医療分野を始め多方面で支えることができる人間性の涵養の実現		
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ① 基本的な生活習慣を確立し、学習活動、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などに粘り強く取り組み、自己実現を目指す生徒 ② 夢を生活の原動力、将来の目標とし、それに向かって「温順にしとやかに お互いに心をあわせ 明るく快活に まじめに勤労へ」日々努力する生徒		
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況
【成果】 (1) 生徒の希望する進路を実現するために、授業をはじめ面接指導・課外授業等、継続的指導により、生徒数減少のなか国公立大学に4名合格したほか、看護医療系大学の進学者が増加し、看護医療コース設置の効果が現れた。 (2) 部活動加入率は約6割で、加入生徒は活発に活動している。バレーボール部がビーチバレーボール全国大会で準優勝するという快挙を成し遂げた。JRC や放送部、吹奏楽部等は地域からの要請を受けて各イベントで活躍した。 (3) 国際理解教育では、JICA派遣の講師による講演会を実施した。英語コミュニケーションコースの生徒 Tokyo Global Gateway（東京英語村）で学びを深めた。 【課題】 (1) 「主体的・対話的で深い学び」及びタブレット・電子黒板等のICTを活用した効果的な授業実現のために、校内の相互授業参観等、教職員で一層の授業改善に取り組む。 (2) 中学校・地域等に対して積極的な広報活動を行い、本校の特色や生徒の活動の様子等をPRし、地域とともにある学校としての認知を確実なものにし、中学校・地域の本校への期待を把握して応えることにより本校志願者数を増加させる。		1 中卒者数の大幅減に対応するため更なる戦略的広報活動を展開する。	①「本校を知ってもらって、来てもらって、見てもらって、体験してもらって、受けてもらって、入ってもらって」という一連の流れの中での広報活動を実践する。 ② 「コミュニティ・スクール」としての強みを最大限に生かし、地域と連携を深めることで、本校の教育方針を理解してもらい、地域とともにある学校として認知されることで受検生の増加につなげる。	C
		2 個に応じた教育を推進し、確かな学力の定着に資する授業改善に努め、進路実現に導く。	③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現及びタブレット・電子黒板等のICTを活用した授業改善に努める。 ④ 公開授業や相互授業参観の実施など、学習指導の質的向上を目指した校内研修体制の充実を図る。 ⑤ 学び直しや基礎学力の定着を図り、自ら意欲的に進路実現を目指す生徒の育成に努める。 ⑥ 生徒と向き合う時間の確保に努め、適切な助言で学習意欲の向上、維持を図る。 ⑦ 「チャレンジ・プロジェクト事業」を通して、生徒に寄り添った体験学習を実践し、進路意識の高揚に努める。 ⑧ 看護・医療コースのカリキュラムのさらなる充実を図る。 ※数値目標（生徒の授業満足度、肯定的評価80%以上） ※数値目標（進路希望決定率100%） ※数値目標（1日看護体験参加者30名以上） ※数値目標（インターンシップ参加者25名以上）	B
		3 基本的生活習慣の定着と規範意識の高揚を図り、自己の確立を目指す。	⑨ しとやかな身だしなみに基づき、温順に快活な生活習慣を身に付けさせる。 ⑩ 清らに美しく生活するために清掃を徹底し、美化活動に努める。 ⑪ 集団の一員としての自覚を高め、他者と協働しながら課題に挑戦して解決することができる力の育成に努める。	B
		4 特別活動の活性化を図り、豊かな人間性を培う。	⑫ 自主的・主体的な部活動や生徒会活動を奨励し、キャリアパスポートを活用して心身共に調和のとれた生徒の育成に努める。 ⑬ 学校行事を通して、直面する課題に適切に対応できる能力を育成する「シティズンシップ教育」の推進に、積極的に取り組む。	B
		5 国際理解教育を推進し、国際人としての素養の涵養に努める。	⑭ 英語によるコミュニケーションの機会を積極的に創出し、英語を使いながら学ぶ体験的な学習方法の確立を目指す。 ⑮ 英語を学ぶ・英語で学ぶ・ともに学ぶ姿勢で、「使うための英語」を身につけさせる。 ⑯ ALTや社会人講師との英会話を通して実践的英語力育成と異文化理解の促進に努める。 ※数値目標（年間英検受検者数：2級10名以上、準2級50名以上）	C
		6 活力と魅力ある学校づくりの推進に努める。	⑰ 県立学校改革基本プランに沿った継続的検討を進める。 ⑱ 働き方改革を促進するため、ICTを活用した効率化や部活動の精選等、教職員の業務の見直しを推進する。 ⑲ 「県立日立第二高等学校の部活動に係る活動方針」に従い、安全に、短時間で効率的な部活動を実施する。	B

評価項目		具体的目標	具 体 的 方 策	評価		次年度（学期）への主な課題
教科指導		創意工夫をこらした指導と充実した授業の展開	「主体的・対話的で深い学び」の実現とタブレット・電子黒板等のICT活用のため、授業改善に取り組み、分かる授業を展開する。 生徒の授業満足度、肯定的評価 80% ③④⑤	B	B	・ICT活用等の授業改善における情報共有。 ・相互授業参観におけるより積極的に参観できるような方法の検討
			総合的な探究の時間（野ばらタイム）をスムーズに運営する。 ⑤	A		
		年間指導計画に基づいた授業の展開	シラバスを活用し、計画通りの指導内容や進度を達成する。 ④⑤	B		
			観点別評価を推進し、指導の改善を図る。 ③⑤	A		
		授業時間の確保と学力の向上	出張、年休の際に、授業交換を確実に行う。 ⑤	B		
			相互授業参観、校内研修会等を計画的、体系的に行い、授業改善の意識を高める。 ③④⑤	B		
教科	国語	創意工夫をこらした指導と充実した授業の展開	教材研究を十分に行い、生徒の実態に合った授業やICTを活用した授業を展開する。言語活動を豊かにしようとする積極的な態度や思考力の育成を図る。 ③④	B	B	・スタサブ活用法について再考が必要 ・成績不振者だけではなく、課題の取り組みができていない生徒への指導にも工夫が必要。 ・ICT機器の有効的な活用方法を模索する。
		年間指導計画の作成と活用	作成したシラバスを活用し、見通しをもったスムーズな授業を展開、進度を実現する。 ④⑤	A		
		授業時間の確保と学力の向上	出張・年休の際の授業交換を確実にを行い、授業時間確保に努める。 ⑥	A		
			毎時間の授業で達成感を持たせるように努め、また、小論文講座との連携を図り、受験・就職試験等にも対応できる力を育成する。 ⑤⑥	B		
			基礎学力の定着及び向上のための週末課題の工夫と、成績不振者に対する指導を計画的に行う。 ⑤⑥	B		
教科	地歴・公民	基礎基本の学力の定着	定期的に課題プリント等を出して、学習習慣を身につけさせる。 ③⑤	A	B	・課外の開始時期や方法などの工夫。 ・ICTの効果的な活用。
			定期考査前後に、理解の不十分な生徒への指導を実施する。 ③⑤	A		
		多様化した生徒に対応する指導方法の工夫	I C T機器を積極的に活用し、生徒の自主的、自発的な学習を支援する。 ⑤	B		
			新聞記事やテレビのニュースなどを通して、社会への興味・関心を持たせ、自らの価値観や意見の形成を図る。 ⑪	B		
		生徒の進路希望に対応した学習指導	受験対応のため、課外授業や小論文指導を実施する。 ③⑤⑦	A		
	数 学	密度の高い授業実践	到達目標を定め、計画的な授業を実践する。授業終了後、指導内容を点検し、次の授業に生かす。 ③	B	B	・学力の二極化をふまえ、適切な課題設定をする。 ・家庭学習の定着をはかるため、適切な支援を行う。
		基礎学力の定着	教科書の設問や問題集の演習を通し、基礎学力の定着を目指す。 ③⑤	B		
		家庭学習の習慣化	授業終了時に問題集等から課題を与え、家庭学習の定着を図る。 ③	C		
		成就感・達成感の獲得	机間指導中における声かけを十分に行うことや、個々の生徒に適した課題を与えることを通して、成就感・達成感を持てる授業の展開に努める。 ③	B		
	理 科	生徒の自然に対する興味・関心や探究心の向上	I C T機器を積極的に活用する等、教科指導法の創意工夫と改善に取り組み、魅力的で分かりやすい授業を展開する。 ③	A	B	・タブレット端末や電子黒板を活用し、調べ学習等の時間をふやしていきたい。 ・身近な現象や実物を例に挙げながら、生徒の興味関心を引き出し。自然科学の原理や概念の本質的な理解を目指したい。
			生徒による授業評価を実施して、生徒の実態にあった授業法を確立する。 ③⑬	A		
		希望進路を実現させる確かな学力の養成	適切な問題演習の時間を確保し、密度の濃い課外授業を行う。 ③⑤	B		
			学習習慣を確立する働きかけを行い、家庭学習時間の増加を促す。 ③	B		
		科学的に探究する態度の育成	生徒が主体的に実験や観察を行う機会をできるだけ多く設定する。 ③	B		
			探究の過程を通して基本的概念、原理、法則を系統的に理解させる ③	B		
教科	保健体育	心と体の健康に基づいた活気ある生活を営む態度の育成	体育の授業で効果的にICTを活用し、生徒が意欲的に取り組む授業を展開する。 ③	A	B	・体育行事の練習時間を必要最低限にして、授業時間を確保する。 ・I C T に頼りすぎず、
			個人や集団の実技指導により、各種スポーツの技術の向上を図る。 ⑤	B		
			パワーアップ体操の実施により、基礎体力の向上を図る。 ⑤	B		

		主体的に健康管理ができる保健指導の充実	生涯を通じて、心身の健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成するとともに健康の維持増進を図る。 ③⑤	A		生徒の実態に合わせて柔軟に対応する。 ・服装の統一 （長袖を着たいなら指定のロンTを買う。一定の長さで髪の毛を縛る。）
--	--	---------------------	--	---	--	---

教科	芸術 (音楽)	生涯にわたり音楽を愛好する心情の育成	音楽に対する興味や関心を高めるため、多種多様な音楽を用いて、歌唱、器楽、鑑賞、創作の授業を展開する。 ③⑤	A	A	協働し意欲的に課題に取り組むことが出来たが、個々の基礎力定着には多くの課題がある。ワークシートの内容を精選し、意欲的に取り組めるような工夫をしたい。
		感性の向上を目指した音楽文化の理解と鑑賞の充実	鑑賞を通して、音楽の歴史や文化、音楽と生活や社会とのつながりについて理解を深める中で、豊かな感性を育成する。 ③⑥	A		
		個性豊かな表現力と他者との協働を通した思考力育成	基礎力の定着を図り、表現や鑑賞において他者と協働しながら合奏し躓きを克服できる思考力・表現力を育成する。 ⑤⑪	B		
	芸 術 (美術)	創意工夫をこらした指導と主体的・対話的な充実した授業の展開	美的体験を豊かにする題材の設定と教材研究を十分に行い、ICTを活用し、より生徒が意欲的に取り組む授業を展開する。 ③	A	B	・ICT機器を活用すること生徒が美術教育に意欲的に取り組むことができた。 ・鑑賞教育では、芸術鑑賞の時間が不十分だったので来年度は時間を取っていきたい。 ・各題材に合わせた鑑賞活動を行うことで作品制作につなげることが出来た。
		生涯にわたり美術を愛好する心情の育成	作品制作や鑑賞教育を通し、美術と他の芸術や、時代、社会との関わりに関して興味関心を高める。 ③⑤	B		
		美術を通した思考力・表現力の育成	作品の主題や背景を読み取る鑑賞や、発想構想を重視した表現活動、言語活動を含む授業を設定し、生徒の思考力・表現力を育成する。③	B		
	外国語 (英語)	英語に対する興味付け	ALTとのTTの工夫、学校外活動の実施などを通し、コミュニケーションの手段としての英語の重要性を理解させる。 ④⑪⑭⑮⑯	A	A	
			英検等の資格試験の情報を的確に与え、英検課外などを通して積極的に挑戦し、進路実現へとつなげさせる。 ③⑮	A		
		家庭学習の習慣化	予習の仕方を的確に指導し、家庭学習の習慣化と効率的な学習方法を理解させる。 ③⑤	B		
		基礎学力の定着	定期的に小テストを実施することにより、生徒に理解の度を把握させる。 ③⑤	A		
			昼休みや放課後に生徒の質問に積極的に応じ、それぞれの疑問点の解消に取り組む。 ③⑤	A		
		英語による活動の推進と指導研究	英語による活動を通して、英語による思考力・判断力・表現力を育成する。 ③⑭⑮	A		
		国際理解教育の推進	異文化を理解尊重するとともに、我が国の文化や伝統を大切にする態度の育成を図る。 ⑭⑮⑯	A		
			ALTや外国人講師、社会人講師の積極的な活用を図る。 ⑭⑮⑯	A		
			大学や地域、外部機関との連携を図り、有効な体験活動や学習指導を実施する。 ②③⑭⑮⑯	A		
	家庭	基礎的な知識と技能の習得	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を習得させる。 ⑤	B		・学習した知識が生活の中で生かされ実践に結びつく授業内容の工夫。 ・ホームプロジェクト（課題）の提出までの個々に対するきめ細かい指導。
		課題解決能力の育成	ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を通して、生活の中から問題を見だし、解決方法を考え、実践する力を育てる。 ③⑪	B		
		自己の生活と社会を結びつけた学習の充実	現代社会の様々な課題を自己の課題としてとらえ、多面的・多角的に考察する力を養う。 ③⑤	B		
	情報	情報に関する科学的な見方や考え方の育成	新課程に沿った内容で、講義・実習を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養う。 ⑤⑥	A	B	・新課程（共通テスト）導入段階が終わり、続いて適正な実践段階に相応しい学習内容を進める。
		社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力の育成	情報モラルや情報に対する責任を理解し、情報及び情報技術を適切に活用しながら、情報社会に主体的に関わろうとする力を養う。 ⑪	B		
		授業展開の研究	「主体的・対話的で深い学び」と、学力の向上、および自ら進路実現を目指すよう授業を工夫し適切な助言指導をしていく。 ③⑤⑥	B		

教 務	教育課程の課題の検討と改善	令和４年度入学生から始まった新教育課程及び看護・医療コースの成果と課題を検証し、改善につなげる。⑧	B	A	・業務の分担・内容の改善 ・要録点検の確認作業時期の見直し ・年間目標の見直し ・校務支援システムの運営 ・日立二高の現況と将来を見据えた学校の在り方についての検討力
	授業時間の確保	出張、年休の時に授業交換を確実に行う。⑤	A		
	広報活動の充実	中学校訪問、ポスターの配布、学校通信の配布等を通じて、中学校・地域への情報発信をより充実させる。①	A		
	観点別評価の推進	観点別学習状況の評価を推進し、評価を指導の改善につなげる。⑤	A		
	看護・医療コースの運営強化	看護・医療コースの運営について進路指導部に協力して、体制を整える。⑦⑧	B		
	情報機器の機材更新（校務支援システムの運用を含む）、学習用端末の利活用・指導法研究	より効果的な情報環境の整備をする。情報セキュリティ実施手順に対する職員の共通理解を図りながら、学習用端末の利活用と指導法の研究に努める。③	A		
	図書館の積極的利用の推進と、書籍・図書館企画の充実	図書委員会の活性化を図り、図書館の利用率を高める工夫をする。⑤⑪	A		
		生徒のニーズに応じた書籍等も選定し、蔵書の充実化を図る。⑤⑥	A		
	図書館の蔵書に関するＯＡ化	図書館利用者の円滑な図書検索が可能となるように努力する。⑤	A		
		Eggシステムを有効活用するための環境を整え、蔵書管理のＯＡ化を進める。④	A		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と自主的自律的な態度の育成	毎月の登校指導で、挨拶・服装・頭髪・遅刻指導等を行う。⑨	A	A	生徒の多様化を考慮するとともに社会の変化に対して柔軟に対応する時期なのではと考える。ただし、学校としての規範が薄れないような処置をしなければいけないと思う。
		生徒とのコミュニケーションを充実させて、家庭との連携を深めながら、基本的な生活習慣の確立を図る。⑨⑪	A		
		教室移動の際、集合時間の厳守と貴重品袋の使用を習慣づけて、盗難防止対策の徹底を図る。⑨⑪	B		
	学校の安全管理の徹底、特にメディア関係に関する対策指導の充実	交通安全・防犯（特にネット関係）・薬物乱用等の講演会を開催し、理解を深める。ネットパトロールを実施する。⑪	A		
		不審者・変質者対策の充実を図る。（迅速な対応）⑨	A		
		自転車通学者の通学届の提出・点検等を定期的に行い、交通安全の充実を図る。⑨⑪	B		
	ＰＴＡ役員・保護者との連携を密にして、ＰＴＡ活動の円滑な運営を図る。	専門委員会や学年委員会の活動をより充実させ、ＰＴＡ活動への参加を高める。①②	A		
		学校の実態に即した、ＰＴＡ事業の精選、組織の編成やＰＴＡ規約の検討を行う。⑰⑱	A		
進路指導	生徒の進路意識の高揚と、生徒の自己実現の支援体制の強化を図る。	学年と連携し、進路希望調査や模擬試験を実施するとともに、基礎学力の向上を図る。③⑤	B	B	・全体的な進路指導対体制の見直しをする。特に、総合的な探究の時間のレベルアップを図る。 ・進路指導（行事等）の目的の明確化（再確認）をするとともに、各進路資料を適切に指導に生かすようにしたい。
		「進路資料」等の進路情報を、有効に活用できるよう援助する。⑤⑥	C		
		面接指導、課外指導、土曜開放等を実施し、生徒の学習意欲の向上と学習環境の充実に努める。⑤	A		
		２年・３年特進クラスの効果的指導法を検討し、実施する。⑤	C		
		第１希望の進路の実現を目指すとともに、進路未定者をゼロに近づける。⑤⑥	B		
	看護医療コースの運営と「総合的な探究の時間」における探究活動を推進し、キャリア教育の充実を図る。	出張講義・インターンシップ・大学見学会・講演会等の行事において、外部講師・機関との交渉を計画的に進め、３年間の計画的指導に努める。⑤⑦	A		
	入試改革に関する新しい情報の収集と共有を進め、その対策を検討する。	改革に対応するための授業のあり方を教科と連携して検討・実施に努める。④	C		
		大学入学共通テストの内容や、各大学の入試形態の変化、外部検定試験の利用、ポートフォリオの利用等、その動向を把握し、学年・教科と共有できるようにする。④	B		
特別活動	生徒会、各種委員会活動等の活性化	生徒会活動や学校行事での自主的・主体的な活動の支援に努める。学校行事を通して、直面する課題に適切に対応できる能力を育成する「シティズンシップ教育」の推進に、積極的に取り組む。⑪⑫	B	B	・今年度は初めてクラスTシャツを制作したが、来年度は文化祭もあるため、コスチュームかクラスTシャツ
		各種委員会活動の計画的な運営や充実に努める。⑪⑫	B		

					にするかは要検討
--	--	--	--	--	----------

特別活動	H R活動の活性化と充実	H R活動で、生徒の主体的な取り組みを支援し、成就感や達成感を体験させる。 ⑫	B	B	・各行事の服装や頭髪について学年の先生方と連携が必要。
		キャリアパスポートを活用し、高校生活の見通しと振り返りにより生徒にとって今後の人生の「道しるべ」となるようにする。 ⑬			
	部活動の活性化と活気ある校風の形成	体育部、文化部への積極的加入を促し、安全に、短時間で効率的な活動を実施する。 ⑪⑬⑱	A		
		ボランティア活動等への積極的な参加により社会性を育てる。 ⑪⑫	A		
保 健	学習環境の整備	毎日、清掃を徹底する。 ⑩⑬	C	B	・校舎全体で必要な清掃箇所を再点検して毎日清掃を徹底する。 ・効率的な清掃実施のための手法を考察する。
		教室内外の整理整頓に努める。 ⑩⑪	C		
		環境衛生検査（照度・空気・水質・ダニ・放射線等）を定期的実施し、適切な学習環境を整える。特に換気の徹底に努める。 ⑩	A		
		教室での冷暖房の適切な使用を促す。 ⑪	A		
		敷地内禁煙の徹底に向けて、教職員の協力態勢の確立に努める。 ⑪	C		
	保健指導の充実	保健指導及び健康管理指導の充実を図り、生徒一人ひとりが自分の体調管理をできるようにする。 ⑪	A		
		必用な情報を、その都度保健だよりにまとめ、生徒に周知する。 ⑪	B		
	施設設備の点検と安全管理	定期的に施設・設備を点検し、安全な教育環境を整備する。 ⑩	A		
		危機管理マニュアルを整え、非常時の対応に備える。印刷したものを一部職員室にて保管する。 ⑪	A		
	精神面でのサポート強化	生徒の精神面でのサポートをするとともに、関係者との連携を図りながら、解決に導くようにする。 ⑪	A		
		適度な人間関係の構築方法や、友人間のトラブルの解消法などを学ぶ機会を設ける。 ⑪	A		
第 1 学年	基本的生活習慣と自律した生活習慣の確立	挨拶を励行し、規律ある生活習慣を身につける。 ⑨⑩⑪	B	B	・服装頭髪指導の徹底。 ・保護者への連絡を密にする。 ・全体的な学力の底上げ及び、課外指導の強化。 ・職員間の共通理解・協働体制の強化。 ・生徒の目標・希望に応じた進路指導。 ・ラーケーションの使い方について。 ・総合的な探究の時間の活用方法（道徳的事項）
		提出物の期限を守るなど、卒業時を見据えた自己管理能力を養う。 ⑨⑩	B		
		身なりを整える習慣を徹底し、高校生としてのあるべき姿や態度を養う。 ⑨	B		
		清掃の習慣を身につけさせ、快適な学習環境や生活環境を整える。 ⑩	B		
	進路を見据えた学習習慣の確立	予習復習や課題等を通して基礎学力の定着を図る。 ③④⑤	B		
		課外（平常・夏季・冬季）への積極的参加を促す。 ⑤⑥	B		
		検定試験への積極的な受験、ボランティア等の校外活動への積極的な参加を促す。 ③	B		
		進路ガイダンスや進路講演会などの行事をきっかけに、主体的に自らの進路を切り開く力を養う。	B		
	人間力の育成	部活動や生徒会活動、学校行事への積極的な参加を促し、心身ともに健康な生徒を育成する。 ⑫⑬	A		
		H R活動や委員会・係活動などを通し、協調性があり、おおらかで豊かな心を育む。 ⑨⑪	B		
		教員の声かけや面談を通し生徒の変化に気づき、様々な悩みやつまづきの把握に努め、早期の対応を図る。 ⑨	A		
第 2 学年	基本的生活習慣と自律した生活習慣の確立	挨拶を励行し、規則正しい生活習慣を心がけ、登校リズムを整えさせる。 ⑨⑩⑪	B	B	・学年としての規範意識の醸成。 ・校則を違反した際の対処法の確立が必要か。 ・成人としての社会性の醸成。 ・進路実現に向けた進路指導。 ・教員間での意識統一。 ・書類の紛失や不備
		校則を遵守し、日立二高生らしい容姿を身につけさせる。 ⑨⑩	B		
		清掃の意識を高め、清潔な生活環境や学習環境を整える。 ⑩⑪	B		
	進路を見据えた学習習慣の確立	各教科で予習・復習の習慣づけを工夫し、基礎学力の確立を図る。 ③④⑤	B		
		スタディサプリの積極的な活用、朝学、各授業、到達度テスト、検定試験への積極的な受検、インターンシップやボランティア等の校外活動への積極的な参加を促す。 ④⑤⑥⑦	B		
		課外授業、資格試験への積極的参加を促し、進路意識の高揚を図る。 ③⑤⑦⑪	B		

		類型コースのカリキュラムを十分に活用し、目指す進路につなげられる力を養う。 ③⑤⑥⑦	A		がないような体制の確立。 ・式典や学校で開催
第2学年	人間力の育成	部活動や生徒会活動、学校行事への積極的参加を促し、心身ともに健康な生徒を育成する。 ⑥⑫⑬	A		されるイベントへの参加率の向上。
		HR活動や委員会・係活動を通し、誰とでも協調、協働できるおおらかで豊かな心を育む。 ⑫⑬	B		
		教員の声かけや面談を通し生徒の変化に気づき、様々な悩みやつまずきの把握に努め、各分掌等と連携をとりながら早期の対応を図る。 ③⑪⑬	A		
		修学旅行に向けて十分な事前指導を行い、平和および自然環境について自ら考える力を養う。 ⑬	A		
第3学年	基本的生活習慣と自律した態度の確立	規則正しい生活習慣を心がけ、自己管理能力を高め、登校リズムを整えさせる。 ⑨⑩⑪	B	B	・欠席が多い生徒への対応。 ・スタサプの有効活用（朝ドリル、授業との連携）。 ・クラスマッチ等の行事で出欠確認や生徒指導を含めたSHRを設ける。 ・1/3適用に関する共通理解。 ・様々な場面で教員、学校側からのアプローチが必要。
		挨拶を励行し、授業や集会等での聞く態度を育成する。 ⑨⑪	A		
		手帳やClassroom等を活用し、必要な情報の獲得や提出物の期限を守るなど、自己管理能力を養う。 ⑩⑪	B		
		校則を遵守し、二高生らしいさわやかな容姿を身につけさせる。 ⑪	B		
		毎日清掃を徹底し、学習用品の整頓、清潔な生活環境・学習環境を整える。 ⑪	A		
	進路を見据えた学習習慣の確立	各教科で予習・復習の習慣づけを工夫し、学力の確立を図る。 ④⑤	B		
		課外（平常・夏季・冬季）への積極的な参加を促す。 ⑤⑥⑦	B		
		スタディサプリの積極的な活用（朝学・各授業・到達度テスト・ポートフォリオ等）、検定試験への積極的な受験、ボランティア等の校外活動への積極的な参加を促す。 ⑤⑥⑪	B		
		進路ガイダンスや進路講演会の機会、手帳等を有効に活用し、自らの活動の足跡を把握し、主体的に進路を切り開く力を養う。 ⑤⑥⑦	A		
		類型コースのカリキュラムや系統別学習を十分に活用し、目指す進路につなげられる力を養う。 ⑤⑥	A		
	人間力の育成	部活動や生徒会活動、学校行事への積極的な参加を促し、心身ともに健康な生徒を育成する。 ⑪⑫	A		
		HR活動や委員会・係活動を通し、誰とでも協調・協働できるおおらかで豊かな心を育む。 ⑪⑫⑬	B		
		教員の声かけや面談を通し生徒の変化に気づき、様々な悩みやつまずきの把握に努め、各分掌等と連携をとりながら、早期の対応を図る。 ⑥⑪	A		

評価方法〔A、B、C、D、Eの5段階で評価する〕
 A・・・十分達成できている B・・・達成できている C・・・概ね達成できている D・・・不十分である E・・・できていない